

PV

あら～♪
可愛い子はっけーんw
うふふ～
はい、捕まえた♪

ねえ♪
どうしてこんな所をウロウロしてたの？
ねえw
どうして？

くすくす
イヤらしいことされたかったんだよね～？
あはは、隠さなくてもいいんだよ～？
見ればわかるし♪

わたしね？
性欲強いんだ～

ほら、触ってみて
どう？
おちんちん凄くおっきくなってるでしょ？
誰でもいいから犯したかったの♪

うん、誰でもいいよ～
手頃な精液便所が欲しかっただけだからね♪

いや～
見つかって良かった♪
ん？ 何？
え？
ああwww

「僕はオトコノコだから、おちんちん無理でちゅ～」

って言いたいのねww
あはは
かわいいーwww
そんな顔されたらw
余計にそそられるじゃないww
今はね？
オトコノコをメスにする方法なんて幾らでもあるから♪
うふふ。
女を普通にレイプするよりね？
メス改造したオトコノコの方が犯し甲斐があるのよ
みんな、いい声で泣いてくれるしね♪

こらこらww
涙を拭きなさい♪
まだ早いつてwww
そんなに焦らなくても本編でいっぱい泣かせてあげるから。

処女膜をぐちゃぐちゃに破ってあげる♪
喉の奥をおちんちんでかき回してあげる♪
チンポ無しじゃ生きられない身体にしてあげる♪
ふふふ～
嫌嫌言っても、下のお口は正直だねw
よだれをぴちゃぴちゃ垂らしておねだりしてるww
ほら、おいで！
あなたを夢を叶えてあげる♪

00. プロローグ

あら、気がついた？
うふふ。
驚かせてごめんなさいw
私ね？
可愛い子を見かけるとね？
つつい、こうやってつまみ食いしちゃうの♪

ほらほら、涙を拭きなさい。
折角の綺麗な顔が台無しよ♪
くすくす。

あなたは今から私のモノになるのよ♪
奴隷？
ペット？
呼び方なんて何だっていいじゃないw

嫌？
ふふふ♪
いい反応ねww
私ね？
抵抗してる子を滅茶苦茶にレイプするのが趣味なの♪

うふふ。
2度と笑えないようにしてあげるね♪
あなたはマゾ。
強い女に征服されて、支配されることが夢。
くすくす。

でも、それはファッション♪
単に好みの女とセックスしたいだけw
うふふ。
そんなに必死に否定しなくてもいいのよ～？

だって、あなたは今から本当のマゾになるんだから♪
あら～
心が感じちゃった？
うふふ。
可愛い子♪

あなた…
オマンコがもうぐちょぐちょじゃないww
もう少し慎みを持ちなさい♪

ん～？
そんなの付いてない？
ふふふ。
そうねw まだ付いてないわねww

まあいいわ。
あなたは私好みに調教するから♪
今の状態はどうでもいいわ。
そうよ、調教。
完全に私のものになれるようにあなたをじっくりと躰けてあげる。

身構えるフリなんてしなくていいのよ～♪
あなたの夢、叶って良かったね～ww
大きなペニスを無理やり咥えさせられて
上も下もチンポ漬けにされるのが、あなたの夢だったものね～♪
誰かに支配されるっていうのは中々素敵なこと。

そうでしょ？

ご主人様に支配されれば、何も考えなくていい。
ご主人様の言葉を聞き、それに従っていればいい。
可愛くおねだりしているだけで、快感をいっぱい与えて貰える♪
気に入られたら、いっぱいいっぱい褒めて貰える♪
これってとっても素敵よね。

そうでしょ？

ねえ。
私はあなた好みの主人よ？
わかるよね？
マゾなんだから？
うふふ。
幸せにしてあげる♪
逃げてくれてもいいのよ～ww
逆らってくれてもいいのよ～www
くすくす。
そんなに強姦されたいんだw
わかるわかる♪
あなたってレイプ願望が顔に出てるものww
あははは♪
……うふふっ。
それじゃ、調教を始めようかしら。

00. プロローグ2回目以降

あらあら～
どうしたの？
うふふ。
誤魔化さなくってもいいじゃないww

私のペニス、忘れられないんでしょ？
くすくす。
今更清純ぶらなくともいいのにww

無駄だから♪

あなたは私のペニスに逆らえない。
淫乱マンコちゃん♪
わかってるんでしょ？
もう、オチンチン無しじゃ生きられない身体になってるってことww

今日はどんな体位で犯されたいの？
どんな風に泣かされたいの？
ん～？
調教されたい？

あはは、それは困ったわね～
あなたは完全に調教済みだから♪
もう開発の余地なんて残ってないのwww
ふふふ。
おねだりが上手になったね♪

いいわよ。
じゃあ、念入りに再調教してあげる♪

ほら、おいで。
いっぱい可愛がってあげるからね♪

01. 催眠誘導 「私の子猫ちゃんになりなさい」

うふふ、息が荒いよ？
待ちきれないのかな？
くすくす、可愛い子。

ほら、呼吸を整えなさい♪
呼吸は大事よ～
だって、息が出来なきゃ死んじゃうものね～
だから、私が管理してあげるね♪

うふふ、だ一め♪
さあ、私の言うとおりに呼吸をしてみて。
最初はリズムを整えることだけ考えて♪

ほらほら、ゆっくり息を吸って吐くだけよ♪
あら～
お上手お上手。
あなた偉いわ～
じゃあ、繰り返してみようか？

吸って一、吐いて一。
吸って一、吐いて一。
吸って一、吐いて一。

吸うときはゆっくりとお腹を膨らませるように。
吐くときにはそれをしぼませるように。

吸って一、吐いて一。
吸って一、吐いて一。
吸って一、吐いて一。

呼吸のときの空気の流れを想像してみて。
心地の良い涼しい空気が体の内側に流れ込んでいて
そしていらぬものを含んだ淀んだ空気が外に流れていく。

吸って一、吐いて一。
吸って一、吐いて一。
吸って一、吐いて一。

これくらいのペースで呼吸を続けていて。
そうすればあなたはどんどんリラックスできるから。
息を吸って、吐く度に心が落ち着く。
どんどん心が落ち着いていく。
だから呼吸に意識を集中。
そうすれば更に心が静まって考えるのが面倒になる。

でも、私の話も聞いて。
難しい？
そうよね。
このままずっと私の話を聞いていると、頭がボーッとしてきてそれどころじゃなくなって
しまうもの。
でも、それで意識が片方に向けられないようになったなら
どっちを選んでもいいから今は両方に意識を向ける。

ゆっくりと吸って一、吐いて一、私の話を聞く。
きっと遠くない内に両方共できないくらいになるわ。
ゆっくりと呼吸をして、私の話を聞いているうちに、きっと全身の力が抜けて

考えるのも面倒になって、体も心もドロドロになってしまう。
それはとっても気持ち良くて、素敵なこと。

そうでしょ♪

私の声を聞いて、ゆっくりと呼吸をしているだけでその通りに、意識が溶けていく。
ところで、人間って色々なものに支配されている生き物なのよね。
法律とか慣習とか。
他にはも自然とか。
例えば、大空から落ちてくる雨粒。
重力に引かれて、落ちて、落ちて、落ちて、地上にぶつかる。
これは人間に、いいえ、この世界に定められている自然のルール。
だから、ものは落ちるのよ。どんなものも支えをなくしたら一番下まで落ちて行く。
人の意識も似ているわね。
布団に入って、リラックスして、色々なものから解放されれば、すぐに意識は落ちて眠ってしまうでしょ？

他には、真っ暗な海深くで生まれた泡。
水面を目掛けて、浮かんで、浮かんで、浮かんで、消える。水より軽いものは浮かんでいく。
それも当たり前のような決まりごと。
脱力しきった体が、水にぷかぷかと浮かんで、その浮遊感がまた心地よくて
更に力が抜けるのも同じくらい当たり前のこと。
他にも、例えば人間は息をしなくては生きていけないとか、深呼吸すれば落ち着ける、とか。
生き物の体の構造も私達を縛るルールね。

こんな風に私達は多くの決まりの中で生きている。
何も考えずに。その理由になんて、ほとんど興味を持たずに。
だって、そんなの色々考えていたら疲れてしまう。
だから、多くの人たちは大人になるに連れて考えるのが嫌になって、何も考えずに受け入れるようになる。
そっちの方が楽だから。
何も考えずに事実として受け入れるほうが楽なの。
その理由は気にしなくていい。

多かれ少なかれ、私達はそうやって色々なことを素直に受け入れてきた。
それは全く悪いことじゃないのよ。
理由とか仕組み全てを知ろうだなんて思ったら、気が遠くなるくらい時間がかかってしまうもの。
これから私があなたに命令したり、決まりを作ったりするけど
その理由、全部を説明していたら話が進まないでしょう？
だから、何も考えずに受け入れていいのよ。
今までと同じように。あなたにはそれができるから。
今まで何も考えずに従っていたルールに、私の作ったものを加えることができる。
そんな当たり前のルールに従うように私の言葉に従って、私のものになれる。

ほら、例えば呼吸をすると心が落ち着いて、体の力が抜けてくる。
こんな単純なこと、理由を考える必要なんてないわ。
ただ私の声のまま、素直に受け入れるほうがいいに決まっている。
それに、これはさっきからあなたが体感したことでもあるから、だったら余計理由なんて要らない。
これは明確な事実だもの。

私の声は心地よくて、聞いているだけで頭がボーッとしてくる。
これが間違っていないのはわかっているわよね。
今まさにそうでしょう？
だから、これもただ受け入れるだけでいい。
理由なんていらない。

それから、こうやって私の声を聞いてリラックスすればするほど
新しいルールをすんなりと受け入れることができる。
私の声を聞けば頭がボーッとしてきて考えるのが面倒になってくるのだから、これも当然

り前のこと。
だからこのまま受け入れる。
うふふっ、私、結局当たり前のことしか言ってないわね。
これだったら、簡単に従えるわね。
ところで、もう深呼吸のことなんて忘れていたかもしれないけど、もう一回、私の声に合わせてするわよ。

吸って一、吐いて一。

深呼吸をする度にどんどん意識が薄れて頭の中が真っ白になっていく。
吸って一、吐いて一。
もう何も考えられない。私の言葉にただ従うだけになる。
吸って一、吐いて一。
私だけに従う、私のものになっていく。

さて、これで頭を結構ドロドロにしてくれたと思うけれど、ここで一回起きようかしら。
今から私が数字を数え上げて、5で手を叩くとあなたの意識は覚醒し、元に戻る。
そして数を数えおろして手を叩いたなら、あなたの意識は沈んでいき
この気持ちのいい感覚にもう一度浸ることができるわ。

1, 2, 3, 4, 5

はい、おはよう。気分はどう？
せっかく気持ち良かったのを邪魔されて、少し不満かしら？
でも、これはもっと気持ちのいいところにたどり着くためなのよ。
別にあなたに嫌がらせをしたいわけじゃないわ。
だから、私との決まりごと、思い出して？

ほら、5, 4, 3, 2, 1, 0

思考が薄れ、深くて暗いところまで沈んでいく。
心地の良い、深くて落ち着く場所。
さっきよりももっと気持ちのいいところ。

意識が落ちる、すーっと落ちて、気持ちがいい。
何も考えずにただ落ちていく。
そして体の力も抜けて、どんどん、どんどん下に引っ張られる。
それもまた気持ちがいい。

もっと力を抜いて。
まるで水に浮かぶように。
全身の力を抜いてふわふわとした感覚に身を任せて。
水面を漂う木の葉のように、何も考えないで全てを任せて。

そうすれば体がずーんと重くなって意識と一緒に下へと落ちていく。
崖から放り投げられた小石のように、何も考えず全てを任せて落ちていく。
一番下の深い所まで落ちて、落ちて、落ちていく。

その場所は意識の底。何も考えられない。
何も考えなくていい。
ただ私の言葉を受け入れていればいい幸せな場所。

そこにたどり着いたなら、もう一度戻ろうかしら。
さっきと同じように、私が手を叩いたらあなたの意識は戻る。

1, 2, 3, 4, 5

はい、あなたの意識は覚醒する。
うふふっ、早く落ちて行きたくてしかたないって感じがするわね。
でも、こうやってここに戻ってくるからこそ、落ちて行くことができるのよ？
下に落ちるにはまず上がらないといけないもの。

ほら、5, 4, 3, 2, 1, 0

落ちる、落ちる、すーっと落ちて意識が薄れていく。
高いところから、勢いをつけてどんどん下へと落ちて行く。

でも、

1, 2, 3, 4, 5

おはよう。そしてまた落ちて？

5, 4, 3, 2, 1, 0

落ちる。どんどん落ちる。
上に放り投げられた石のように、加速しながらどんどん意識の底へと落ちて行く。

だけど、
1, 2, 3, 4, 5

今ので最後にしてあげるわ。
次落ちていったらもう戻ってこなくていいわよ。
底を突き破って、最後の最後まで落ちていかせてあげる。

ほら。

5, 4, 3, 2, 1, 0

5, 4, 3, 2, 1, 0

5, 4, 3, 2, 1, 0

意識が落ちる、落ちる、落ちる、落ちる。
すーっと落ちて、もう何も考えようとは思わず、思考が薄れ、どこまでも落ちて行く。
どこまでも、どこまでも深いところに落ちて行く。

うふふっ、いい感じね。
大分私好みになってきたわ。
あなたはそうやって頭の中トロトロにして、ご主人様の私の声に従ってればいいのよ。
これまでと同じように、この先もね。

ところで、実のこと言うと私、女の子が好きなのよね。
男よりもね。可愛いし、柔らかくていい匂いがして……ふふっ。

だから、あなたには女の子になってもらうわ。
とっても可愛い、私だけの女の子に。
あなたは私のものだから、あなたの体も当然私のもの。
だったら、少しくらいいいじってあげてもいいわよね。

難しいことなんて何もないわ。
あなたは私の言葉をただ受け取るだけでいい。
そう、何も考えず、今のまま頭の中を空っぽにしていればいいの。
あとは私が全部やってあげるから。

さて、あなたには私の好みの女の子になってもらうわけだけど、私は華奢な子が好きなの
よね。
思いつきり抱き締めたら壊れてしまいそうな、人形のような女の子。

色白でほっそりとした腕では重いものを持つことなんて難しくて、すぐに疲れて腕自体が
重く感じてきてしまう。
重力に引かれて、下に引っ張られるように重くなっていつてしまう。
だって、力がないからそれは当然のこと。腕の重さをすぐに感じてきてしまう。

それは脚だって同じこと。ほっそりとした脚は自分の体を支えるのが精一杯で、歩きでも
したらすぐに疲れてしまう。

そうしたら脚がどんどん重くなって行って、動かそうだななんて思えなくなってしまう。

まるで今のあなた。疲れ切ってもう身動きできない、したくもない女の子。

そんな女の子はどうすればいいのかしら。

そうね、他の人にすぎるしかないわよね。

例えば、頼りになるご主人様。

その人の言うことは素直に聞いて、従わなくちゃならない。

だって、か弱い女の子だから。

もう疲れ切って自分じゃ何もできない。

何も考えられない。無力な女の子。

でも、それでいい。女の子なら、それが許してあげる。

ただ体の重みを味わい、何も考えずご主人様の言うことを聞くだけでいい。

今のあなたのように全てを私に預けていい。

そして、今から私が数字を数えおろして0で手を叩くとあなたの体が女の子になっていくわ。

まずは頭から。長い髪、大きな瞳、小さな鼻、柔らかな唇。

5, 4, 3, 2, 1, 0

ほら、これであなたは女の子に近づいた。

次は腕。白くて、細い、か弱い女の子の腕。

5, 4, 3, 2, 1, 0

これでまたあなたは女の子に近づいた。

今度は胸。小さな2つの膨らみ。女の子の柔らかな胸。

5, 4, 3, 2, 1, 0

またあなたは女の子に近づいた。

そして次は脚。誰もが羨むような、細くてきれいな脚。

5, 4, 3, 2, 1, 0

あなたは更に女の子に近づいた。

最後に性器。敏感なクリトリスとおまんこ。

5, 4, 3, 2, 1, 0

あなたは女の子に近づいた。

これであなたはもうほとんど女の子。後は最後の仕上げだけ。

10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 0

あなたは女の子になる。

それはとても自然で、当たり前で、疑いようのないこと。

だから簡単に、すんなりと女の子になる。

10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 0

あなたは女の子になっていく。

か弱くて、一人じゃ何もできない女の子。

だからどんどん力が抜けて、体が重くなっていく。

いえ、すでに重いのかもしれないけれど、それはあなたが女の子になっていっている証。

10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 0

あなたは女の子になった。私の可愛らしい女の子。

何も考えずに、ご主人様にされるがままの私の所有物。

まるでお人形のように私にただ可愛がられるだけの存在。それが今のあなた。

02. プレイ開始 「処女を奪ってあげる」

そう、これであなたは私だけの可愛らしい奴隷。
よかったわね。これからあなたは何も考えなくていいのよ。
全てをご主人様に任せて、ご主人様の言う通りにしていればいい。

それって本当に素敵なことなのよ。
だって、自分で考えるのって疲れちゃうわよね。
今、きつととても心地良いと思うけれど、それが支配される気持ち良さなのよ。
だから、私の奴隷であればずっとそんな気持ちよさを味わうこともできるわ。

さて、そんなあなたには早速お仕事してもらおうかしら。
今からあなたにしてもらうのは、とっても気持ち良くて素敵なこと。
それでいてとっても簡単。
ただ私の言うことを聞いて、されるがままになっていけばいいの。
これまでとほとんど一緒。
酷いことはさせないって言ったでしょ？

それじゃあ準備をしないといけないわね。
まず脚を開いてくれる？
いい子ね。あなたのきれいなおまんこがよく見えるわよ。
ぴっちり閉じていて、うふふっ、これを今からめちゃくちやにできると思うと……。
そう、今からあなたを犯すのよ。

『強姦 ♪』

あなたには私の性奴隷になってもらうの。
私のおちんちんを受け入れて、私を気持ちよくするのがあなたの唯一のお仕事。

『レイプ ♪』

私に犯されてよがり狂って私を楽しませてくれればいいの。
されるがままに、快楽に溺れて乱れればいい。

『凌辱 ♪』

とっても幸せなお仕事よね。
でもまずは準備から。
あなたのおまんこをぐしょぐしょにしないと。
じゃないと私が気持ち良くなれないでしょ？
だから、あなたは私のために感じて、濡らさないといけないのは、分かるわよね。

じゃあ触ってあげるわ。
あなたのおまんこ。
まずは周りからね。
たっぷり時間をかけて、ぐちょぐちょにしてあげるから。

ほら、私の指があなたのピッチリと閉じたおまんこの周囲を撫で回す。
なんてことのない些細な刺激なのに、何だかとても気持ちいい。
何だかとても気持ちいい。
だけどそれは当然のこと。
ご主人様自らが愛撫してくれるのはとっても幸せなこと。
感じてしまうのは当たり前のこと。

だから、これだけで凄く気持ち良い。
ほら、スリスリ、スリスリって撫で回してあげるだけで。

他にもこうやっておまんこの筋に沿って撫でてあげたり、爪で軽く引っ搔いてみたり……ゾクゾクして、とても気持ちいいでしょう？

それでいいのよ。
私の言葉と愛撫のままに感じるのが今のあなたにできるご奉仕。
だから、私の為にも感じていいのよ。
難しいことを考えないで、気持ち良さを味わうだけでいい。

ほら、スリスリ、撫で撫で、カリカリってされれば凄く感じてしまう。
そして感じるほどに体がどんどん熱くなり、もどかしくなってくる。
体が発情し始めてもっと強い刺激が欲しくなってくる。

でも、まだよ。まだ我慢できるでしょ？
もっともっと、体がおかしくなるくらいもどかしくなったら、そうね……指でも入れてあげるわ。

それまではこうやって、すりすり撫でてあげるだけ。
でも、それでいいわよね。だって気持ちよくしてもらっているんだもの。
どんなにもどかしくなっても、気持ちいいものは気持ちいいでしょ？
だから、もっとこの感覚を楽しみなさい。

別に意地悪しているわけじゃないのよ。さっきも言ったけれどこれはあなたを使うための準備。
言ってしまうとオナホールにローションを垂らすのと同じようなもの。
だから、あなたにはおまんこを濡らして欲しいの。

とは言っても、結局されるがままになっていけばいいわ。
だって、あなたはこれからどんどん敏感になっていって、盛の付いたメス猫になってしまうんだから。

今から私があなたに「子猫ちゃん」って呼びかける度に、あなたの考える力は薄れ、気持ちいいことだけを考えるようになっていく。
まるで、難しい事を考えられない、動物のように。
これはご主人様があなたに与える決まりごと。だから、あなたはこれを簡単に受け入れることができるはずよ。
そうよね、子猫ちゃん。

そう、あなたは淫乱な獣になっていく。
だからほら、おまんこの周りを撫で回されるだけで、感じて、鳴いてもいいのよ。
ほら、子猫ちゃんの可愛い声を聞かせて？

うふふっ、このまま子猫ちゃんが悶え続けるのを見ているのもいいけれど、それはまたの機会にして……
約束通り次は指を入れてあげる。

ほら、子猫ちゃん、力を抜いて。
息を吸って。1, 2, 3で入れるわよ。1, 2, 3！

ふふっ、入っちゃった。どう？
気持ちいいでしょ？
いいえ、聞くまでもないわね。
気持ちいいのが当然。
あなたは気持ち良くならなくてはならないの。
それがご主人様からの命令だから。

でも、そんなに難しく考える必要なんてないわ。
おまんこの中をいじられて気持ちよくなるはずなんてないから。
簡単に従えるわよ。
ほら、子猫ちゃんの中、いじってあげる。

でも、おまんこの中をいじれば子猫ちゃんはどんなに風に感じてくれるのかしら
きっと私があなたの中を擦ってあげれば、そのあたりがカーッと熱くなったりして
全身に気持ちよさがじんわりと広がるのかしらね。

あなたの気持ちいい居場所はここ？ こっち？ それとも、このあたり？
もしかしたら、どこを触っても変わらないくらい敏感だったり。

あなたは散々もう焦らされて、発情し始めているからそれ不思議じゃないわね。
おまんこの中のどこを刺激されてもすっごく感じてしまっ、わけがわからなくなっても何もおかしくないわ。
ほら、ここ？ もう少し浅いところ？
じゃなくて深いところかしら？
うふふっ、気持ちいいわね。
内側から甘い快感が体中に広がって……でも、もっと激しくしてあげるから、もっと気持ちよくなっていいのよ。

こうやってかき混ぜるようにぐちゃぐちゃに犯してあげれば、もっともっと感じられるわ。
おまんこ全体から全身に快楽が走って行って、全身に気持ちよさが擦り込まれていくよう。
体全体が気持ちよさでいっぱいになって行って、頭の中も気持ちよさでいっぱいになって行って。
そう、何も考えなくていいのよ。快感の中で私の、素敵なお主人様の声だけを聞いていればいい。
そうすればもっと気持ち良くなれるから。

ほら、もっともっと激しくしてあげる。
おまんこをめちゃくちゃに、あなたが壊れてしまうくらいにね。
快感がどんどん溢れてきて、全身が満たされ、弾けそうになっていく。
絶頂の兆しが見えてくる。

そう、絶頂。
快感が全て爆発して、全身を埋め尽くして、何も考えられず可愛い声を響かせてイッてしまうの。
それはとても気持ちよくて、想像しただけでも体が反応して、どんどん近づいていってしまふ。
私に指で犯されてどんどん近づいて、高みに登って、快感が膨張して……でもまだイッちゃダメ。

だって、まだ前戯よ？
ご主人様を気持ちよくする前に自分だけ果てようだなんて……許してあげないわ。
今は、私のためにおまんこをグチョグチョにして準備する時間よ。
あなたが絶頂に達する必要なんてない。

だけど、もっと気持ちよくなろうね、
私の子猫ちゃん。

次は……そうね、充血して、とっても大きくなっちゃってるクリトリスをいじってあげるわ。
凄く苦しそうで、まるで早く触ってくれって主張しているみたい。
うふふっ、お望みどおり今から虐めてあげるわ。まずはこうやって指で優しく転がしてあげる。

さっきいいところで止めちゃったから、すごく体が疼くわよね。
触っただけで、撫でただけできっと体が跳ねてしまうくらい。
ほら、こうやって指の腹でスリスリ、コリコリッって。

その度に私の指からあなたのクリトリスを通して全身に快楽が駆け巡っていく。
発情して、敏感になった体を快楽が限界を超えて満たしていく。
普通だったならもうイッてもおかしくないのに限界を超えてどんどん気持ちよくなっていく。
快感がどんどん高まって……凄く幸せよね。

あなたの勃起したクリトリスをすりすり、すりすり。
うふふっ、もっともっと感じて？
他にもこうやって爪の先で引っ掻いてあげたりとか。
きっとただ擦るだけよりも鋭い快楽が全身に広がっていくのを感じられるでしょうね。

ほーら、もっと引っ掻いてあげる。
カリカリ、カリカリって。

どう？ 寸止めされたあとにこれは気持ち良すぎて、辛いかしら？
もちろんイカせてあげるつもりはないけれどね。

でも、そうね、あなたはとってもいい子だから、ご褒美くらいはあげてもいいわよ。
ご主人様からのあまーいキス。あなたのクリトリスにしてあげる。
良かったわね。子猫ちゃんにの大好きな飼い主様がクリトリスを♪
クリトリスを口で慰めてくれるのよ。
うふふっ、たくさん喘いで、喜びなさいね。
こんなに大きくなっちゃって……いくわよ。

ご主人様のキスはどうか？ 頭がとろけるように幸せて
体がぐちゃぐちゃになるくらい気持ちいいでしょ？
もっとしてあげるわ。これはご褒美だもの。
遠慮せずにたくさん受け取って、もっととろけて？

うふふっ、これじゃ、
どっちがご主人様かわからないわね。
まるで私が奉仕しているみたい。

子猫ちゃんは幸せ者ね。私のものになれて。
こんなことまでしてくれるご主人様なんて、他にいないわよ。
だから、もっと私を好きになっていいのよ？
そうすれば、もっと気持ち良くなれると思うわ。
嫌いな人に犯されるよりも、大好きな人にめちゃくちやにされたほうが気持ちいいでしょ？
ほーら、愛するご主人様のご奉仕よ。

責められれば責められるほど、絶頂を超えて更に快感が高まっていく。
体の中から気持ちよさが溢れてきて、それでもイクことはできなくてどうにかなってしま
いそう。

どうにかなってしまっていていいのよ。
何も考えずに、考えられなくなって
ただ気持ちよさを受け入れればいい。
うふふっ、とってもいい顔よ。すっごく可愛い。
もっと焦らしたくなっちゃうわね。

今から10から数字を数え下ろしていくと
またどんどん快楽が溢れてきて0になるとあなたはイッてしまうわ。
そう、0と私が言えばあなたの中の気持ちよさが全て弾けて
アクメに達してしまえるの。0と私が言えばね。

それじゃ、行くわよ。
10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1

うふふっ、イカせて貰えると少し期待したかもしれないけど
もちろんはそんなこと許してあげないわ。
あなたはずっとこのアクメの直前の気持ちよさを味わい続けるの。

ほーら、
10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1
でも、イカせてあげない。
あなたはイケずに、もどかしくて強烈な快感を味わい続ける。
気が狂ってしまいそうに体が疼いて、甘い快感に頭を犯され続ける。

10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1
体の奥底から何かが吹き出そう
潮かなにか拭いてしまいそうなほど、気持ちいいのに
それは堰き止められていて体の中で暴れ続ける。

10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1

もう頃合いかしら。散々虐めたから、あなたのおまんこの中
あなたの頭と同じようにトロトロになっちゃって
入れたらすっごく気持ちいいでしょうね。
それに、可愛らしい子猫ちゃんを虐待する趣味も無いし。

でも、聞くまでもないかもしれないけれど、あなたは本当に入れて欲しいの？
私のおちんちん、入れてしまったらもう後には戻れないわよ。
今までは焦らされてておかしくなっちゃいそうだったかもしれないけれど、今度は気持ち
良すぎておかしくなっちゃうわよ。
もう私のペニスなしじゃ生きていけない、完全に私の性奴隷になってしまうけれど……も
しろんいいのよね。

うふふっ、こんなに焦らされたあなたがここで我慢することなんてできるはずない。
頭の中は犯してもらうことでいっぱい。
私のこの話だってどうでもいいから、早く入れてもらって、イカせて欲しい。
そんなこと、分かっているんだから。

でも、口に出して言わないといけないときもあるのよ。
だから、しっかり声に出しておねだりしてみましょ？
私に続いて声を出してみて。
それができたら、入れてあげるから。
入れてあげるから♪

『私は、ご主人様のおちんぽを、気持ちよくするための、奴隷になります。
どうか、私のおまんこを、自由に使って、気持ちよくなってください』

よくできました。
いい子いい子。それじゃあ、お望み通り使ってあげ…る！

うふふっ、入っちゃったわね。待ちに待った私のものはとてもいいわよね。
何も動いていないのに、これだけで気持ちよくなってしまう。
でも、それだったら動いてあげればどれほど気持ち良くなれるのかしらね。
壊れるくらいイッておかしくなってしまうくらい？
ま、体験してみれば分かるわね。

さて、あなたが私の完全に私の性奴隷になってくれたご褒美として、まずはイカせてあげ
る。
あなたをめちゃくちゃに犯しながら、数字を0まで数えおろして、絶対にあなたをイカせ
てあげる。

ほら、
10, 9
私に突かれているとさっきまでの責めとは比べ物にならない程の快感が湧き上がってくる
。

8, 7
指では届かなかったおまんこの奥から全身に気持ちよさが溢れてきて、今にも弾けそう。

6, 5
でも、0になるまでいくことはできないから、快感は際限なく体の中にたまり続ける。
そして、強烈なアクメに近づいていく。

4, 3
体が快感と絶頂の期待に震え、声を抑えることはできない。
声を出せば出せずほど、タガが外れたように快感がさらに増していく。

2, 1
よく我慢できたわね。次のゼロであなたはこれまで感じたことないほどの快感に襲われ、
絶頂に達するわ。

ゼロ！ イク！

全身の快感が弾けて、頭の中が気持ちよさでめちゃくちゃになり、アクメに達する！
爆発した快感は消えることなく、体の中を暴れまわりつつ、快感が収まらない！
ほら、もっとイキ続けなさい！ ゼロ、ゼロ！
イッても、もっとイキなさい。
ゼロ、ゼロ、ゼロ！！！！

03. プレイ2 「連続絶頂」

うふふっ、とっても可愛いイキっぷりだったわ。
あなたを私のものにできて、本当に嬉しいわ。
念入りに準備しただけあって私もとっても気持ちよかったし。

だけど私、まだイッてないのよね。だから、これで終わりじゃないわ。
もう少し子猫ちゃんを使わせてもらわないと。

休憩？ そんなのあるわけじゃない。
私に我慢しろって言うの？
それにイッた後ってすごく敏感になるから、これを楽しまないなんてもったいないわ。
これからあなたはさっきよりももっと気持ち良くなれるのよ？
それにイッた後って頭がボーッとしてすごく幸せな感じがして
この中で犯されるのも凄くいいものよ。

だから、休まない方がいいの。
このまま続ければもあなたは恍惚とした幸福感を味わえるし
もちろん、物凄く強烈な快感を味わうことができるもの。

ほら、深呼吸しなさい。吸って、吐いて。吸って、吐いて。
うふふっ、もう一度私のものが中に入って、めちゃくちゃにされちゃうのよ。
想像してみて？
これからどんなに気持ちいいのかを。どんなに幸せなのかを。
触れただけでも感じてしまいそうな敏感な体を
大好きなご主人様に内側からえぐられたらどんなになっちゃうのかしら。
一突きされる度に快感に全身を震わせて、可愛い嬌声で喉を枯らして
最後には……ふふっ、どうなっちゃうのかしらね。

想像するだけでもどんどん興奮してきて
息が荒くなって、気持ちよくなってきちゃうわね。
さて、それじゃあもう一回入れてあげる。
さっきよりもっと感じて、乱れるところ、見てあげるわ。

いくわよ、ほらっ、私のが子猫ちゃんの中に、はいっ…たあ！
ふふ、凄くいい感じね。
さっきとは比べ物にならないくらい。
でも、それはあなたも同じこと。
私のおちんちんがあなたのおまんこのひだの一つ一つに擦れられて気持ちいいように
あなたのおまんこの中が余すところなく擦られて、とても気持ちいい。
そう、気持ちいい。
気持ちいい。
気持ちいい。

そして、幸せ。
ご主人様に使われるのは幸せ。
ご主人様の声を聞くのは幸せ。
ご主人様に従うのは幸せ。
それは当然のこと。
あなたは、私の可愛らしい奴隷なんだもの。
だから、あなたはちゃんと、この、当たり前の決まりを守れる。
ご主人様の声に従える。
それが奴隷にとって自然なことだから。

例えば、これから動くけど私が一突きする度に
おまんこから全身に快感が駆け巡って
頭の中がぐちゃぐちゃになるくらいに感じられる。
快感に顔を歪ませて、嬌声を我慢できず、乱れきってしまう。

ほら、こうやって、何回も、何回も、何回も突かれれば快感がどんどん溢れてくる。
突かれる度におまんこの奥の深いところから快感が湧き上がって、全身を埋め尽くす。
奥から抜かれる度におまんこの中を擦られて、気持ちよさが広がっていく。

それが、ずっとずっと、ずっと続いて際限なく気持ちよくなっていく。

1回入れられるだけでも気持ちよかったんだもの。
こうやって何度も何度も繰り返してあげればそれだけ気持ちよくなるのは当然。
突かれる度にどんどん気持ちよさが強くなっていくのは当たり前。

1回突かれるよりも2回、3回、4、5、6、ほらどんどん気持ちよくなって、おかしくなっていく。
7、8、9、10、回数を重ねるごとに快感が積み重なって行って
ほら、もっと感じてしまっているのよ。
11、12、13、14、15、16、17、18、19、20。

イキたい？
うふふっ、いいわよ。イカせてあげる。
もう焦らす必要もないしね。何回でもイッていいわ。
今から数字を数えおろしてゼロになったら、あなたはイッてしまうわ。
さっきと同じように、でも、快感は何倍も強く。

20, 19, 18, 17
アクメを意識してとあなたはもっと敏感になる。
数字が0に近づくに連れて、どんどん期待が膨らんで快感が大きくなっていく。

16, 15, 14, 13
私に何度も貫かれている内に、体が絶頂の準備を初めて、どんどん気持ちよくなっていく。

12, 11, 10, 9
気持ち良すぎて、もうイッてしまいそうなほどだけれどまだイケない。
限界を超えてしまうほど気持ちよかったあのとき以上に、もっともっと快感が積み重なっていく。

8, 7, 6, 5
何も考えられず、頭のなかに入ってくるのは私の声と気持ち良さだけ。
気持ちいい、気持ちいい、気持ちいい。

4, 3, 2, 1
次であなたはイクわ。体中の快楽がはじけ飛んで、あなたは至高の快楽に包まれる。

ゼロ！ イキなさい、子猫ちゃん！ イク！ アクメに達する！
快感が爆発して、イキ続ける！ 何度も何度も何度も、強烈な快楽が襲ってきて、アクメが止まらない！
イッて、イッて、イキ続ける！

でも、もちろんこれで終わりじゃないのよ。分かるでしょ？
だって、私がイッてないんだもの。
さて、次はこのだらしない大きくなっちゃったクリトリスでもいじりながら犯してあげようかしら。

ねえ、さっき言ったことごと、覚えている？ 「イッた後はもっと敏感になって気持ち良くなれる」って。
だったら、2度もイッたあなたはもっと気持ち良くなれるわよね。ふふっ、すごく幸せね。

それじゃ、弄ってあげる。
こうやって、私のおちんちんであなたの中を犯しながら、クリトリスをこう指で転がすように……コリコリッって！
気持ちいいわよね。
だって、おまんこを犯されているだけで気持ちいいのに
それに加えて敏感なクリトリスまでいじられたら
片方だけ責められているよりも気持ちよくなるのが当然じゃない。

内側と外側から責められて2倍、いえ、それ以上に気持ちいい。
クリトリスを責められる度に鋭い快感が全身に走って、中を責められる度に全身がとろけ

るような甘い快感が全身に広がる。
2つが合わさって、もうよくわからないわね。
そう、わからなくていいし、考える必要もない。あなたはただ気持ちよくなってればいいのよ。
ほら、クリトリス、摘んであげるから。ほら、キュって！

うふふふふふ、今のあなたのおまんこの中とっても締まってすっごくいい感じだったわ。
これ、ずっと続けてあげれば私もとても気持ちよくなれそう。
いっぱい虐めてあげるから、あなたもクリトリスで沢山感じて？

ほーら、こうやってクリトリスを摘んで、擦って、転がして、クリトリスから快感が溢れる。
こうされるの好きだったわよね。もっともっと感じていいのよ。
さっきイッたときにみたいに何も考えられなくなっちゃっていいの。
子猫ちゃんは私の性奴隷だから私を気持ちよくしてくれれば後は何もする必要はないのよ。
だから、考える必要はない。
そして、私を気持ちよくしてくれれば何をしてもいいの。
だから、壊れるくらいに気持ちよくなってもいい。気持ち良すぎて何も考えられなくなってもいい。

クリトリスがいじられる度に、快感が溢れてくるのはもう言うまでもないけれど、そろそろ体の中に熱い物を感じられるかもしれないわね。
まるで、噴火しそうな火山に蓄えられているマグマのように。
あなたの体の奥底で、あなたの体に快樂の熱を送りながら、吹き出すときを待っている。
これが全部吹き出しちゃったらどうなっちゃうのかしらね。
きっと今までとは比べもにならない絶頂を迎えて、色々と吹き出しちゃうかもしれないわね……
潮とかおしっことか、うふふっ、それくらいの強烈なアクメ、

想像してみて。
このままクリトリスとおまんこをいじめられ続けて、気持ち良さが体の奥底に溜まっていて、それが弾けて溢れ出すところ。
きっとそれは私がイクときと同じタイミング。
中出しされるのはとても素晴らしいこと。
女としての自分が満たされ、支配され、愛されているような、色々なものが絡み合った幸せを感じられることができる。
そしてその幸福感から頭や心に直接注ぎ込まれるような気持ち良さだって味わえるわ。

そんな私の熱くてどろどろの精液をたっぷりとおまんこの奥で受けて、それを引き金としてあなたもイッてしまう。
注ぎ込まれて、吹き出して、絶頂に達する。
ねえ、自分がどんな風に、どれだけの快感の中でイッてしまえるのか、想像できた？
今からそれを現実のものにしてあげる。

今から数字を数えおろして…って、もうわかってるわよね。
これももう、一つの決まりごとみたいにあたり前で、自然なこと。
カウントダウンしていった数字がゼロになったとき、あなたが絶頂に達するっていうのは言うまでもないくらい当然のことよね。

それじゃあ、イクわよ？ 子猫ちゃん。
10、9

クリトリスを指でコリコリ、クリクリってする度に全身に電流のような快感が走る。
体がビクンビクンと跳ね始めたりもして、全身が絶頂へ期待し始める。

8、7

おまんこの奥を突かれる度にそこから湧き上がるように全身に快感が回っていく。
中出しの期待から、頭の中が幸せで満たされていく。

6、5

体の奥底の快感の塊がどんどん熱くなって、限界に近づいていく。
今にも体の外に吹き出して、色々とぶちまけてしまいそう。

4、3

いいのよそれで。それを出してしまえばあなたは今まで感じたことないほどの気持ち良さを得られるから。
私も出すから、あなたの出してしまっていていいの。

2、1、

ほら、イクわよ。出すわ！　一緒にイキましょう！？

ゼロ！　イク！　イッちゃう！　白いドロドロの精液を放って、おまんこの奥で受けてイク！

快感が弾けて、吹き出してアクメに達する！

そして中出しされた精液の熱を感じる度に、快感がどんどん溢れ出し、それが次々と弾けていく！

アクメが止まらない。止まらずにずっと、ずっとイキ続ける！

イク、イク、イク！　イキ続ける！

ED. 解除

ふふっ、どうだった？ 私はすごく良かったわ。
相性がいいのかもしれないわね。
本当ならもっと犯し尽くしてあげたいけど、流石にこんなにいい子を壊すのはもったいないわ。
今日はもう終わり。

不満？
あなた、奴隷なのよ？
ちょっといいカラダしてるからってワガママはダメよ。
私の命令は絶対なんだから。
大丈夫よ。また可愛がってあげるから。

それじゃあ、一旦元の状態に戻すわ。
とは言っても、今回体験したことは紛れもない事実で私の奴隷としての心構えは残っているから
次に私とあったときはもっと素敵な性処理奴隷になれるわよ。
そして、私に使われて、あなたはもっと気持ち良くなれるようになっているはず。
だから、また私のところに戻ってきなさいよ。
これはご主人様の命令。

さて、今から数字を0から10まで数字を数え上げ終わって手を叩いたら
あなたは完全に元の状態に戻るわ。

1
霧に包まれていたようなあなたの意識がはっきりしてくる。

2
自分で物事を考えられるようになり、あなたはしっかりとした一人の自立した人間になる。

3
誰かの奴隷ではないから、無条件で誰かの命令を聞くななんてことはしなくていい。

4
あなたは自分で考え、自分の意思で行動できる。

5
そして全身に力が戻ってきて、自由に体を動かすことができるようになる。

6
例えば、手を握ったり、膝を曲げたり。

7
そして体を動かしている内に、自分の体がどんなものだったかも思い出してくる。

8
あなたの元々の性別は男。つまり男性の体だったことに。

9
もうあなたはほとんど元の状態に戻っている。
だから、後はきっかけさえあれば全て元通り。

10
これであなたは完全に元の状態へと戻った。

はい、おしまい♪
身体は元通り♪

でもね？

破れた処女膜は二度と戻らない。

そして♪
はじめてのペニスに逆らえる女なんていないw

身体が疼いたらいつでもおいでなさい。
幾らでも可愛がってあげる♪

おまけ 「中古便器の分際で」

何？
そんなところでモジモジして？
願いがあるのなら言って御覧なさい♪

ん？
何？
聞こえないw

「また、女の子になる催眠を掛けて欲しい？」

あはははwww
そんな必要ないよ♪
自覚無いかな？
あなた、もうメスになってるのよ～
ふふふ。

いいから股を開きなさい♪
うふふ、いい加減立場を弁えよっか？
あなたはね？

非処女♪
貫通済み♪
中古便器♪
性欲処理係♪
公衆便所♪

そうだね？
あらあらww
まだ触ってもいないのにw オマンコぐちょぐちょじゃないww
女でもこんな淫乱な子はいないよ～ww？

ねえ？
催眠とか必要あるの？
ん？
必要ある？
だよねえwww

じゃあ、黙って股を開こうか？
ふふっww
私が犯しやすい様に腰を上げなさい？

あらあら～
オマンコヒクヒクしてるじゃないww

じゃあ、入れるね～？
おっ？
あははw
スポッって入っちゃったw

あなた、外でチンポ啜えまくってるでしょ？
誤魔化しても無駄だよ～ww
すっかりガバガバの淫乱マンコじゃない♪

ほらァ！
これが欲しかったんでしょ？
清純ぶってるんじゃないよww
この淫乱マンコが！

もうオチンチンの事しか考えられないんだよね？
私に隠れてやりまくってたんだよね～？
でも、私のチンポが忘れられないんだよね～w w

ほらあ！
もっと腰振りなさいよ！
誰のチンポが一番いいの？

ん～？
答えなさいよw w
ねえ！　　ねえw！

そうなんだw
私のチンポが一番大きくて硬いんだw w
それが解るほど、色んなチンポにハメられてたんだあw w w

どうりでガバガバになる訳だわ
だからね～？
あなたのマンコ全然気持ち良くない。

うん、全然だめーw
は？
媚びても無駄だからw w

あははw
いきなり腰を使い始めたしw w
何、捨てられたくないの？
誰にでも股を開く公衆便所の癖に
わたしを束縛したいんだw w

ふふふ。
積極的ねw w
どこで覚えたんだかw w
ほらあ！　　もっとマンコ絞めなさいよw！
もっと全身でわたしのチンポに奉仕しなさい！

このチンポがいいんでしょ！？
わたしのチンポじゃないとイケない身体になっちゃったんだよね？
ねえ？　ねえ？　ねえ！？

ハメて貰ったら
「ありがとうございます」
だよねえ！

中古便器を使って頂いてるんだから感謝しなくちゃいけないよねえ！

ん～？
これかあ？　　これが欲しかったのか～？
ほらあ、このチンポが欲しかったんだよねえ～w w？

ん？　ん？　ん？　ん！？

要らないの？
要らないの？
やめようか？
嫌ならここでやめてあげてもいいんだよ～？

じゃあ、もっと必死でおねだりしなさいよw w w

あ～
このマンコ最低～w w
感度も悪いし、全然スカスカw w
もう用済みかな～w w？

あははw w

ねえ、あなた
ソープに沈めるから♪
ふふ
もう決めたからw w

良かったね～♪
残りの人生チンポ漬けだね～
おっw w
急にオマンコが締まってきたw w
そんなに風俗送りが嬉しいのw？
身体は正直ねえ♪
チンポ漬け肉便器になれるの楽しみだねえw w

いい感じにキュウキュウしてきたわー。
射精出来そう♪
ん～？
あなたもイキそうなの？
いいよ♪
一緒にイキましょ♪
イク時はちゃんとイクっていいなさいね～♪

具合良くなってきたるわー。
ああ、なんか出ちやいそう！

もう出すね！
ふうううう。
おお、いくいく！
ああああああっ。
おおおっ！

あー、すっきり。
じゃあ、私寝るから。
もう帰っていいよー。
はい、お疲れ～。

(完)